

備前市事務事業評価表

(平成18年度事業)

事務事業名	児童遊園地管理事業		コード	02-01-01-06
			担当課・係	福祉事務所児童福祉係
事業実施期間	S46 -		担当者	藤田
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	電話	64-1825
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目(施策)	子育て支援		

事業について	
目的 (何のために)	次世代を担う児童が地域で安全にのびのびと遊べる場を提供する。
対象 (誰・何を対象に)	地域の児童及び保護者
内容	児童が安全に遊べる遊具等を点検し、随時修理している。

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
児童遊園地数	遊園地数 31ヶ所	遊園地数 32ヶ所	
修理件数	修理件数 5ヶ所	修理件数 9ヶ所	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費 人件費	1,892 3,630	間接補助金等 受益者負担 市債		直接事業費 人件費	2,144 2,388	間接補助金等 受益者負担 市債		直接事業費 人件費		間接補助金等 受益者負担 市債	
合計	5,522	一般財源等	5,522	合計	4,532	一般財源等	4,532	合計	0	一般財源等	0	

結果指標	結果指標名	遊園地数	遊園地数	
	結果指標量	31	32	
	単位	ヶ所	ヶ所	
	対前年比		103.23%	0.00%
結果指標	活動にかかるコスト	4,521,985 円	3,369,125 円	
	単位当たりコスト	145,870 円	105,285 円	
	結果指標名	修理件数	修理件数	
	結果指標量	5	9	
結果指標	単位	ヶ所	ヶ所	
	対前年比		180.00%	0.00%
	活動にかかるコスト	1,000,000 円	1,162,697 円	
	単位当たりコスト	200,000 円	129,189 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	事故の未然防止に努め、安全安心な遊びの場とする		
成果指標名	児童遊園地で発生した事故件数	式又は説明	修理の不備による事故をなくする。
成果指標量	17年度	18年度	
	0	0	
到達目標値	事故件数 0	到達目標年度	毎年

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等:
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
有効性の評価	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
成果向上の可能性	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

平成19年度の状況		
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 特記事項無し
目標値	結果指標量	児童遊園地数 32ヶ所
	結果指標量	修理件数 10件

総合評価	
児童遊園地の施設数は充足していると考えられる。施設が老朽化してくるから、緊急性や安全性を重視し事業を進める。ただし、利用者数や、地域要望を考慮しながら遊具等の撤廃も考える必要があると考える。	評価区分 <A~E> C

平成20年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	維持管理については、更なる地域管理を促進していく。	毎年	地域住民が管理に関わるにより、地域ぐるみの利用促進が図れる。
有効性	各地区の実情を踏まえつつ、遊具等の撤廃を含めた見直しにより施設整備を図る。	毎年	子どもたちが安心して遊べるよう質的整備が促進される。